



長照寺だより

# わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242  
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: [info@cyoshoji.or.jp](mailto:info@cyoshoji.or.jp)



## 第6回末広和顔会展 (門信徒会作品発表会)

平成27年4月10日～12日 TMOホール(三島商工会議所内)

「人に仏法の話をして相手の人が喜んだときは、自分はその相手の人よりも、もっと喜んで尊いことだと思ふべきである。」

(蓮如上人御一代記聞書より)

# 第23回世界スカウト

## ジャンボリー奉仕



住職 本持 愚山

去る七月二十四日より八月八日まで23WSJの奉仕活動をしてきました。世界各国よりスカウト三万四千人、参加国百四十七カ国が一同に集まり、四年に一度の大会です。人種、民族、宗教を超え異文化の交流が始まりました。

日本での開催は四十四年前富士宮の朝霧高原でした。今回は山口県きらら浜と言う会場で南北に四キロ、東西に三キロと広大な広場に一晚でテント村の出現、いよいよキャンプ生活です。そこは世界大会、公用語が英語とフランス語。昔取った杵柄は多少会話になったことでした。さてスカウト活動を少し説明致します。

起こりはイギリス、軍隊の少年兵に斥候術を学ばせ国の為にとの思いが、青少年の健全育成を目的とし、教育の現場を自然に求め出発し、運動へと変化した活動です。当然野営生活が基本となり、結索法、野外料理、自然観察等々、多岐に渡り学びます。そして学んだ事柄がそのまま人生に役立つ事となります。「そなえよつねに」は全ての生き様に大切な標語であり、スカウト活動の最も重要な指針です。実は私も小学校五年生の時この活動に縁があり現在に至つ



ています。

入隊の時「三つのちかい」「十二（現八）のおきて」を唱えスカウトの一員として認められるのです。ここで着目すべき事柄として「ちかい」の最初が各国共通と言う事です。それは「神（仏）」と国とに誠を尽くし、おきてを守ります」です。言語は異なりますが、まず「信仰心」を持つ事に重点を置き、それぞれの実践活動を学び、世の為人の為に奉仕できる人財育成が重ねられています。

私はお釈迦様の教え「仏教」に出遇いました。従いまして、ジャンボリーの会場では信仰を奨励する広場にて各国の教導者と共に訪れるスカウト達にそれぞれの宗教を認めつつ、あらためて信仰心を養い活動に励むようにと説く奉仕活動をさせて戴きました。本当に尊いご縁と心から感謝しています。

スカウトサイン三指



# お寺の林間学校 (南ブロック門徒子弟研修会)

■平成27年7月29日(水)～31日(金)

■富士市立少年自然の家

■常願寺



門信徒 小四 藤澤 三つ目 樹

楽しかった林間学校in静岡

わたしは、二はく三日の林間学校へ行きました。その中でもとくに楽しかった事が三つあります。

一つ目は、沢登りです。最初のほうは、岩があまりなかったけれど、登っている内にだんだんたくさん急な岩が出てきたので、とても楽しかったです。ただ、ちょっとで水たまりに入ってしまったので、とてもざんねんでした。

二つ目は、キャンプファイヤーです。わたしたち班「ベイマックス班」という出し物をしました。ほかの班の出し物もとてもおもしろい出し物がたくさんあって、見ているだけでも楽しかったです。

三つ目は、流しそうめんです。

うめはし、ガミ、チ、コボールなど、たくさんいろいろな物が流れてきました。お寺の林間学校は毎年いろいろなことをたいけんできるので、来年もまた行きたいです。



# 活動報告

平成二十七年度上期

## 花まつり「お釈迦様の誕生日」

お参り後、お釈迦様のご生涯を映像にて鑑賞いたしました。

平成二十七年四月五日・・・五〇余名



## 末広和顔会展（門信徒会作品発表会）

平成二十七年四月十日～十二日・・・来場者二五〇余名  
隔年ごと開催しております末広和顔会展を今年度開催いたしました。作品の展示だけでなく、特設コーナーにて「アニメ親鸞様」も上映いたしました。  
※写真は表紙・八ページに掲載

## 第四十一回門信徒会親睦ゴルフコンペ

平成二十七年四月二十四日  
・・・新沼津カントリークラブ

優勝 髭 数久さん  
準優勝 岡田 良昭さん  
第3位 小井土 浩さん



## 結婚報告法要

平成二十七年四月二十五日

藤澤 良樹さん・香菜さん  
結婚の報告を、仏前にて報告いたしました。



## 第十回門信徒会親睦ボウリング大会

平成二十七年四月二十六日  
・・・ジョイランドボウルみしま

優勝 藤澤 昭子さん  
準優勝 藤澤 直樹さん  
第3位 岩崎 明雄さん



## 静岡東組組会・総代研修会

平成二十七年四月三十日  
・・・善教寺（三島市）



## 門信徒会定期総会

平成二十七年五月二日  
・・・五〇余名

おかげ様で、各議案とも  
ご承認いただきました。





## 東京教区仏教壮年会研修会

平成二十七年五月九日 …… 築地本願寺

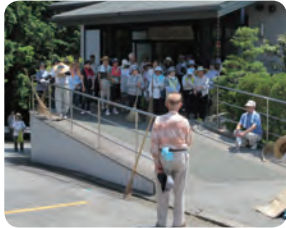
先輩方々を敬いながら、若い者とも共  
生きの強化団体です。



## 境内清掃作業・親睦懇親会

平成二十七年七月二十六日  
…… 一〇〇余名

作業終了後のスイカの味  
は格別でした。



## お寺の林間学校(南ブロック門徒子弟研修会)

平成二十七年七月二十九日～三十一日  
…… 富士市立少年自然の家

静岡・神奈川・山梨県内の小学校1年生～中学校3年生が集ま  
り、沢登り・カレー作り・キャンプファイア・流しそうめん  
等を行いました。

※写真は三ページに掲載

## 合同盆法要(全八回)

平成二十七年八月十三～十五日  
…… 約二五〇家族(約七〇〇名)

ご先祖様曰く  
「皆が元気でうれしいよ。これからも頑張って  
楽しく生きてほしいな…」



## 秋季彼岸会法要

平成二十七年九月二十三日  
…… 一三〇余名

ご講師 白川 憲仁 師



## 門信徒のつどい

平成二十七年九月二十六日  
…… ホテル天坊(伊豆の国市)

「ご縁ー遇えて、よかった(落語から  
仏教にふれる)」 名称のもと、  
十一代目 桂文治師匠をお招きし、  
静岡東組内のご門徒の皆様と一緒に  
楽しく一席拝聴し、落語の後は話し  
合い法座等交流をいたしました。

※写真は七ページにも掲載



# 今後の活動予定

## 平成27年(2015)

10月30日(金)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	三島ゴルフ倶楽部
11月15日(日)	長照寺報恩講	本堂
12月6日(日)	境内清掃作業	境内
12月31日(木)	除夜会	本堂

## 平成28年(2016)

1月4日(月)	修正会・新年会	本堂
1月12～13日	ご正忌報恩講	西本願寺
2月21～22日	仏教壮年会連盟結成記念日研修会	箱根
3月20日(日)	春季彼岸会法要	本堂
4月10日(日)	寺報第35号発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。  
 ※定例法座は第3土曜日、午後1時より本堂にて開催。  
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

(日頃の忙しさから解放されて  
 気持ちが軽くなる自分を発見  
 できるかもしれません。)

## 「伝灯奉告法要」参拝のお知らせ

宗祖・親鸞聖人があきらかにされた「浄土真宗のみ教え」(法灯)が、聖人から数えて第二十五代となる専如ご門主に伝えられたことを、仏祖の御前に告げられるとともに、お念仏のみ教えが広く伝わることを願い、伝灯奉告法要が京都・西本願寺にて平成二十八年秋と平成二十九年春につとめられます。

当長照寺におきましては、左記の期日において毎年恒例の門信徒会親睦研修旅行とあわせ参拝をいたします。

多くのご門徒皆様とともに参拝をいたしたく、約一年先の予定ではありますがご案内いたします。

### ◆期日

平成二十八年十月五日～七日(予定)

※伝灯奉告法要参拝は、六日

### ◆研修旅行先

京都、奈良、大阪方面

### 〈言葉解説〉

#### ・法灯

「念仏の法」と示される、親鸞聖人がひらかれた本願名号の真実の教え、浄土真宗のみ教えのこと。

#### ・伝灯

宗祖・親鸞聖人が明らかにされた真実の教え「浄土真宗のみ教え」(法灯)を伝承し、受け継ぐこと。

門信徒のつどい(公開講座)

ご縁ー遇えて、よかった(落語から仏教にふれる)

平成二十七年九月二十六日 ホテル天坊(伊豆の国市)



世話人 杉山 秀雄

暑さ寒さも彼岸までといいますが、朝晩すつかり涼しくなった九月二十六日に静岡東組の門信徒の集い(仏婦・仏壮研修会)が伊豆の国市(ホテル天坊)にて、長照寺が開催担当寺院(後援・築地本願寺)として行われ参加させていただきました。

研修会では、講師に十一代目 桂 文治 師匠をお招きし、講演で「ご縁ー遇えて、よかった」(落語から仏教にふれる)と題しての話で、仏教に対して粹なトーク(しゃれ)を交えて、落語の裏話、仏教について話され、爆笑と感動の時間があつという間に過ぎ、一時間の予定が十分もオーバーする熱のこもつた落語で大変楽しい講演でした。またこの研修会では落語は初めてとのこと、出席された方々楽しいひと時を過ごすことができました

た。

話し合い座法では、各お寺の方からお寺の行事に参加する人が少ない、また子供がお寺にこなくなつたとの意見が出ました。私事ですが春の彼岸、お盆、秋のお彼岸、年末には孫とお墓の掃除に行きます。終わるとお菓子をお供えし墓の前で食べて帰ります。そしてお寺の行事にはできるだけ孫達と参拝しています。ですから小さな頃からお寺の関係をつくるのが大事ではないでしょうか。 合掌





# 第六回 末広和顔会展 (門信徒会作品発表会)

平成 27 年 4 月 10 日～ 12 日 TMOホール (三島商工会議所内)



合  
掌

今回の作品を楽しみにお待ちしております。  
次回も皆様のご協力により、楽しい展示会が出来ますようお手伝いをさせていただきます。不備な点も多々有ったと思いますがなにとぞご容赦のほどをお願いいたします。

## 出品のお礼



世話人 園田 茂光

## お寺より

### 「いざという時の心構え」

「明日は我が身と知るべし」近頃、公共の電波を使い終活の内容が放映されています。それを見た皆様は何を思うか。そうです、やはり最後に行き着くところは「費用」なのです。とても悲しいことです。

大切なのは、皆様でご往生の意味を知り、ご自分の命の有り様を感ずることなのです。

物知りのおじさん・おばさんに聞いても正しい答えはかえってきません。しきたり・俗習・風習・に惑わされることなく、なんでもお寺へご相談にください。

「いざという時」がきたならば、葬儀屋さんではなく、まずは「お寺へ」ご一報を!!

## 編 集 後 記

☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。

☆お寺は「よろず相談処」です。  
日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。

☆次回寺報は、平成28年4月10日(日)発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで  
〒411-0044三島市徳倉1195-817  
TEL・FAX 055-988-3900  
編集人=長島・菊沢・斎藤・園田